

第218回 Pカンパニー公演

2025年7月

「5月35日」

感想文集

NPO法人 ふなばし演劇鑑賞会

内
國
龍
磨

松永
松野

林次郎

小谷俊輔

伊藤義人

NPO法人
ふなばし演劇鑑賞会さんへ

P
カンパニー

5月35日



細谷 実志

秋田 達也
Atsushi
Hokuto

千葉 純乃

吉岡 健二

本村 愛子

池田 楓

河野 実依

とてもとてもとても素晴らしいかったです。息子を亡くした両親という、ミスマムな（でもとても感情移入しやすい）単位から始まり、ドンドン世界が外に広がっていく構成は、明快で、物語に引き込まれました。

モノローグ・2人の会話と少しの集団の会話で成り立っているのに、1989年の場面が思い浮かんでくるのはすごいと思いました。もちろんテーマも、その立ち位置も大変共感しました。

最後の合唱のところは、レ・ミゼラブルの民衆の歌の場面を彷彿として震えました。（イヴ 伊丹 灌 30代 男）

素晴らしかったです。観た後、舞台に残された家具が愛おしく思えるほど、余韻が残りました。

ちょうど2019年頃、中国にルーツがある親戚が「こういうこと」を言つてみると、中国では捕まるんだよ」とか「日本で報道されているより戦争みたいな状態だよ」とか言つていたので、すごく内容がわかりました。心に残るお芝居、ありがとうございました。（フレジーと元気な仲間たち 西山麻弥 40代）

中国にそんなことが起つていては知らなかつた。今日見たことは一生忘れません。役者さんの演技が、演じている役が自分の八日に演じてて、見ごたえがありました。

（華まる 山崎遥太 中学2年）

重い作品でした。芝居では、いくつかの“笑い”をとる場面がありますが、この手のものではそれをもう少し入れて欲しかったと思いました。

これは、脚本家への注文になりますが、例えばシウラムをトランクに入れて天安門に入ろうと夫が云う。対して彼女は「オシッコやウンチが我慢できない」と応える。そこで更に、「どこかの国の自動車会社の社長は、トランクに入つて飛行機で逃げた。あんなのカツコ悪いものね」と云わせる。

あるいは、最後に夫婦で若い頃を思い出す場面、妻は云う、「私はかの国の主席の奥さんのように美人でもないし、戒厳令を出した大統領の奥さんのように出す場面、妻は云う、「私はかの国の主席の奥さんのように美人でもないし、丈夫に嫁さんには、『おまえの夫は、『権力をつかむと、誰もどうしてああいうキレイどころを嫁さんにするのか。お前の方がずっといいよ』と。重さを軽くして欲しかったと思ひました。

例え、こんな風刺と學問を入れて、最後に疑問。最終場面、カレンダーは6／1と6／2に×印がついていましたが、場面は6／4ですか。私の何かの勘違いでしょうか。6／4には既に死んでいます。それでも前回の木遣り唄に続いて、今回の靈の合唱、感動させられました。とまれ、色々申しました。が、ご夫婦役のお二方、熱演で時間もあつという間でした。

ありがとうございました。

（富士桜 朝日 崇 70代）

実は私の個人的体験ですが、1989年6月4日、東京麻布の中国大使館付近を歩いていた時に、学生デモに遭遇しました。帰宅してニュースを聞いていたら、天安門広場での大虐殺に、日本に来ていた留学生が中心になつて、抗議のデモを行つていたことだと分かりました。歴史の一場面に出会えたことに不思議な感慨を持つたものです。これからも、日本を含め世界中の人たちが、自由、民主、平和を求めて行動することがいかに大切なことかと、改めて思い至りました。

（ムーミン 松尾弘道 70代）

圧倒されるほどの素晴らしい演技でした。（ハイネ 中川奈津子 60代）

竹下さん、可愛らしく美しい方でした。カーテンコールの握手で、握手させていただき大満足です。林さんにも強く握手させていただきました。

会員を増やせていないのに申し訳ありません！がんばつたんですけど、まだ明日がありますと励ましていただきました。

ありがとうございました。

（フエローシップ 谷 70代 女）

天安門事件はとてもショッキングな事件でした。中国共産党も恥ずかしい事件として無かつたことにしたいようです。実際は多くの人達の心に残つてゐると思いました。シウラムとアダイの息子への想い、夫婦の愛情は犠牲となつた人々の仲間や家族に共通しているのではないかでしょうか。50年後かいつか、中国政府からの謝罪の言葉が聞ける時代が来ることを願っています。

（ハッピープリンス 春日井治 70代）

主人公の気持ちの変化と、最後にやり残したいという気持ちが伝わつた。（華まる 山崎瑛仁 小学校6年）

天安門のニュースは見ていましたが、こんなにも深いとは思ひませんでした。母の子を思う想いに気づかされ、自分の心を見つめていました。一人息子が亡くなつたら、あれほどに苦しみ、悲しみ傷ついたんだと気づきはつとしました。何よりも、素晴らしい心が震えまくつた感動と感謝の心でいっぱいです。ありがとうございました。

（石本キヨ 70代）

長丁場の難しいせりふをよくぞ力強く、訴えてくださいました。劇場空間を演ずる人、観る人が共有できることは素晴らしいです。最後の力強い歌声が思いを全て語つていて、締まりました。後ろに映つていた映像は香港のもの？天安門のもの？

ありがとうございました。

（オリオン 無記名）

（）承知のように、景山という低い丘が天安門広場と反対側の城裏の公園にあり、そこに登つて紫禁城を眺める

と幾層にも城が重なり、えもいわれぬ絶景が目に焼きつく。これが西太后はじめ歴代の皇帝たちが天下を取った古巣なのだ。一時期、いまもそうかもしれないが、朝9時に天安門広場に行くとスマッグがひどくて、太陽を直視しても月を見ているようだつた。

天安門の壁中央に現代中国国家の象徴として毛主席の額が掲げられていて、一般市民は故宮を見るために全国から観光にやつて来る。通勤に自転車が万と犇めいて道路に流れていたころ、私らも何度か行つたことがある。13億を優に超す人民を抱える広大な国家を掌る強権は、いわゆる民主主義を受け入れられず、人民はそこの路傍の石になり、容赦なく捨てられてしかるべき存在と化すのか。

それを是とする教育を施し大多数の国民に馴染ませ、国を運営させていく、外から見ていると、なんと恐ろしさまさかと思える。その内実のひとつが「5月35日」なのだ。30年も経つてしまふと記憶が薄くなってしまうが、同様の香港での一連の様子はまだまさまで記憶に残つており、そこで活動していく人々のその後の生き方に心を痛めている。そのためか、しばらく足が向けられないでいる。

否、よその国ばかりでなく、この国でも似たことをしていた事実があり、い

まも様々な形でじつくり圧力をかけてくると肝に銘じておこう。

さて、学生のころ素人俳優をしていた

息子に「どうだつた、おもしろかつたか」と夜の部を観た感想を尋ねたところ、「竹下景子さん、素晴らしくよかつたよ！」と感激していた。「美人の顔ばかり見ていたんだろう」とちやかすと、「すばらしい演技で実によかつた」と真顔になつて繰り返しう。そこで楽しみに観劇したけれど、息子のいうとおりだつた。うかつにも彼女が若いころから舞台に出でたことをまるで知らなかつた。偶然に数日後テレビ放映で「男はつらいよ」に寅さんのマドンナとして若い竹下さんが出演していて、つい、うつとりながめてしまった。

Pカンパニーさん、いい芝居をありがとうございました。どう、今後も大いに期待しています。（マゴメムラタ）



私の家族と私は香港出身です。2年前、香港から日本へ移住しました。雨傘革命の際、香港にいました。6月には天安門事件を追悼するため、ろうそくに火を灯しました。香港には、叔父、叔母、兄弟、姉妹、息子、娘が殺害された経験を持つ友人、同僚、近所の人たちがたくさんいます。政府が民主主義を抹殺しようとした時、私たちは抗議活動に参加しました。警察は路上で人々を殴り、駅に催涙ガスを投げ込みました。この劇は香港人によって書かれ、香港で初演されました。

今、香港で抗議活動を行うことは違法です。天安門事件を記憶することは違法です。この劇も違法です。私たちは子供たちのために日本に移住しました。子供たちに日本でより良い生活を送らせるためです。日本は私たちを温かく迎えてくれました。日本人は親切で、支えてくれます。

子供たちの顔を見るたびに、天安門広場で殺害された人々や香港デモで亡くなった人々のことを思い出します。心が痛みます。

この物語を忘れないことは大切です。力強いパフォーマンスと、この物語を伝えてくださつたことに感謝します。あなたの舞台は私の心に深く響きました。私たち天安門広場と香港をいつまでも忘れません。新しい故郷と、この物語を自由に伝えることができる」と感謝しています。

ありがとうございます！（無記名）

天安門事件を題材にしている舞台に竹下さんが主役で登場している」と、しつかり観させてもらいました。

私にとつてもあまりに衝撃的事件で

あり、事実が断片的に伝えられよくわかつていらない事件でした。民主化を求める市民、学生、労働者を「暴徒」として位置づけ、中国共産党が軍隊をもつて排除し、多くの人命を奪い、その実態を幾重にも覆い隠し歴史から抹殺する、このことに、今も怒りを禁じえません。

その後も遺族の言動を監視し、命日に事件現場の天安門に近づくとともにでもきません。そんな些細な願望を30年間も我慢してきた夫婦が清掃員になって近づくといふ」））を画策するという物語でした。

小さいとき、チエロの才能に気づき将来を嘱望していましたら、それよりも民主化運動に突き進んでいった息子、その息子が突如帰らぬ」となった、母親（シウラム）役の竹下さん父親（アダイ）役の林さんの30数歳を行き来する、若い時からがんや老いで鬪病し残された日々を生きる葛藤がよく伝わりました。

忘れてはいけない歴の真実、中国本土や香港でも上演が難しくなつていてと聞き、日本での多くの上演を望むし、若い人に観てほしいと思つた。

竹下さんがこの舞台をやりたいと思った動機を知りたいです。

（むくらんばⅡ 浜島稔）

自分も世の中良くしようと、平和運動などしている。もし、日本が今こんな社会だったら、きっとすぐ捕まってしまうだろう：そんな時自分なら：家族なら…：と思いながら観ていた。自分の家族の死について、口にすることができないなんてひどい。家族にとつてはなかつたことには出来ないだろう。あの時代を見てきた、口に出来る状況にある私たちには、この事件を語り継ぐ責任があると改めて思つた。

(バジナ 谷口初江 50代)

泣けた。「かわいそう」だけではない。殺されても自分の正義を貫く姿に心が震えた。(バジナ 小林文子 50代)

自由の大切さを感じました。中国の学生や市民が、民主化運動をしようとした経緯も描かれるとわかりやすかつたかとも思いました。最後の天安門に戻った夫婦、学生たちのシーンに胸がつまりました。

(クスノキ 土佐千代子 60代)

天安門事件について記憶が薄れていったので、今一度きちんと調べようと思つた。忘れてはいけない事件の一つなのだ。(ジャンプ 岡本直子 60代)

昔、ニュースで見たショックを思い出しました。中国は身近に感じることはあります、やはり相容れない怖い国だと思いました。(ゲキ友 50代 女)

平和を自由を守ることは、一人一人の強い意志があつてこそだと改めて思いました。私が生きている間に、中國に本当の自由と平和が訪れるといです。(コリン星 西田さおり 40代)

私は耳が悪くて、聴き取れないところが多いのですが、天安門事件がどういうことか良く分かりました。役者の熱意が伝わって来ました。

(歩つ歩 山崎 70代)

天安門事件は良く知つてゐるので、その犠牲になつた人達のことは一生忘れない。

(サモトラケのニケ 伊藤俊彦 70代)

素晴らしかつた。涙しました。

(無記名 70代 女)

本当に素晴らしい演劇をありがとうございました。世界中で今、戦争が起こり、なぜこんな事が起きるのか、本当に残念なりません。一番大切なものは、何ですか?と世界の指導者たちに問いたいと常々思つています。私たちに出来ることは何なのか?その答えがこの演劇のような活動です。小さくても、大きくなうねりとなる為の平和の声を届けていかなければと思います。

(YMO 田中弘之 60代)

始め、子供がいない夫婦二人で死を迎えて、夫を残す心配をどうするかに考えていました。私たちも子供がないため。でも途中から天安門事件のことに全てを奪われてしましました。

最後は夫婦の葛藤と、思いやりでまねいた心残りと事件のことを知りました。素晴らしい舞台でした。

(パン・バスグラス 遠藤章子 60代)

息子への愛は、いつの時代どこの国の母親も同じです。自分の息子を思い、自由に仕事しているようですが、タイの国で6月まで働いて、やつと異動で帰つて來ました。結婚しているけれど、竹下景子さんの気持ち、演技に涙していました。ありがとうございました。

(山彦 田村ユキ 70代)

5月35日が私の誕生日で、いつも朝のニュースを見るに「天安門事件」〇〇周年などのニュースがあり、今まであまり詳しくなかったのですが、今回の劇で理解を深めることができました。来年からはニュースも見てみます。

(無記名 60代 男)

こんなに感動したお芝居は初めてです。息子を亡くした両親の、尽きたとのない悲しみ、そして思想、言論統制の恐さ等、色々と思い知らされました。

(無記名)

素晴らしい芝居でした。最後の合唱も素晴らしかつたです。ストーリーもドキドキ。ありがとうございました。

(フエローシップ 70代 女)

夫婦愛と権力の横暴が絡み合い、重厚な芝居でした。最後に歌われた「歌」、犠牲になつた若者、そして今を生きる人々への強いメッセージと感じました。

そして芝居を通して、今の中国の「国情」や問題点の一端を知ることが出来ました。又、「忘却」は普段の努力が全てでこそ、防げるものと確信しました。

(宙 田口誠雄 80代)

最初に舞台のソフトアーや電話台、炊事場などのセットを見た時、この地味なセットでの天安門事件の激しさを、どうやって表すのだろうと思つたが、それは杞憂だった。

もう死期の迫つた妻と、がんを患つてゐる夫との会話に、義弟が加わり、二人の息子の死の真相がうかびあがつてきて、二人は5月35日すなわち6月4日のその日に、息子が殺された現場で3本のろうそくを灯して弔おうと、人生の最後に心を合わせる。しかし、それを実行するのは至難の技なのだ。この親が子の弔いをまともに出来ないという厳しい現実が、天安門事件がいかに理不尽で隠蔽しなくてはならない負の歴史だったかを教えてくれる。

そして、竹下景子演じる母親は、その弾圧に抗して戦つた若者や市民たちに「それでもあなたたちはやろうとしていた！」と力強く話し、迎えに来た若者たちの靈と、自由を求める歌を歌う。この夫婦の目指したものまた「やろうとした！」で終わつてしまふのだろう。でもいつか、とやはり私は思ひたい。少なくとも、今の日本ではこの演劇を演ずることが出来て、観ることも出来る。しかし、民主主義の旗手のようだつたアメリカがトランプによつて、あつという間に様変わりしたのを見ても、油断はならない。

日本に今ある自由を守るためにも、演劇を観続けたいと思う。
(その場しのぎ 加藤みどり 70代)

ありがとうございました。劇で世の中は変わらない。でも、多くの人に観てもうことで、世の中を変えていく力を推すことはできる！今日の劇を観て、強くそう思った。

歴史を正しく知ることの大切さ。良いことも悪いことも。そこから、より良くするにはどうしたらいいのかを学んでいくのだ。情報統制は独裁政治や戦争への第一歩。おそろしいことだ。それは気づかぬうちに進められる…。

さらに、人権や自由は当たり前ではない、ということ。いつまでも守つていくには、一人一人の努力一世の中を正しく見るということーが必要なのだと痛烈に思つた。子を理不尽に殺された母親の嘆き…。
そこから様々な展開で、考えさせられた劇だった。

(亜童夢 伊澤輝美 70代)

天安門事件は、実際に起つた時に、ニュース映像を何度も観ました。鎮压についても、中国の圧力をかいくぐつて、メディアが取材した映像や記事をみました。さまざまとその時の報道や記事が蘇りました。しかし、その後もこのように、隅々まで監視と圧力が続いていることに、改めてゾッとします。

「5月35日」は休憩なしの1時間40分でした。見ごたえがあり、集中して観劇出来ました。休憩有りの3時間近いものは、観るのにも体力がいります。

(アマルフィ 柴野智代 60代)

(最後の白い服を着た人達が、一斉に入つて来て歌うシーンが、自由や忘れないというような言葉を使って、亡くなつた人達の思いなどを想像して、とても感動しました。

(奥田和誠 中学2年)

我が子と生きた18年より、我が子を失つてからの30年の方がずっと長く、その30年の中で我が子に向き合うことも出来ずに、心の整理も出来ない。)

その30年間の両親(夫婦)の気持ちを表す言葉が見つかりません。竹下景子さんが短期間で変わっていく心身の変化を表現されているのがすごいと思いました。

そんな演技の中にも、少しコミカルな場面があり、観ている私たちを時々ほつとさせてくれました。

夫アダイがどんどんと自分の心、自分の妻、自分の息子と向き合つていき、力強く生き生きとしていたのが心に残っています。

香港では、「5月35日」が上演出来ないとありました。私たちの国、日本もそうならない為に…。まずは、この演劇を観たことを友人に知らせたいと思います。

「5月35日」は休憩なしの1時間40分でした。見ごたえがあり、集中して観劇出来ました。休憩有りの3時間近いものは、観るのにも体力がいります。

(いとこ 90代 男)

最後の歌の時に、観客席辺りから出でた人が、おばあちゃんの子どもだったのかなと考へた。中国では、日本と比べ、人の命が軽い感じがした。きっと、人口が多かつたからかなと思った。

最後、おじいちゃんは殺された人たちを、しつかりと弔うことことができたかな？と思つた。

おばあちゃんは車いすから立ち上がつた時、亡くなつたのかなと思う。

(ゲキ友 安東青香 中学3年)

すごく感動した。ストーリーの時点で既に面白く、泣けてくるのに、役者さんの演技も相まって、すごく良い芝居になつていた。(大野周平 10代)

よかつたよ！息子(59才)も楽しかったと言つてました。年よりがんばれ！

(アマルフィ 柴野智代 60代)



最後の歌が「心」に残りました。あの歌を歌っていた人は、死んだ人だと思いつます。最初から主人公の息子が死んでいました。絶叫がすごく圧倒されました。歌詞があまり聞き取れませんでした。その後はなんかいい感じで終わり、(台本)作った人すごいと思いました。チエロを入れていた部屋が、途中から透けていたので、演出(光)かな?と思いました。(子育てネット 奥田和佳 小学6年)

今回の劇はとてもわかりやすく、感動しました。

(ワディ&ホライズン

向後拓海 高校2年)

最後のコーラスが心に響いた。この歌声を是非聞いて欲しい。

(パンプキン 舞水 70代 女)

天安門をテーマにした内容が、どんなお芝居になるのかと思いましたが、想像以上に心が動かされる舞台でした。竹下さんの演技にも大変感動し、記憶に残るものでした。

(コパン 金山 50代 女)

この現代でも、天安門広場でどうそく一つ灯すことも出来ないの?!とびっくり。しつかり観光地になっていたと思っていたので。声をあげなければいけないと改めて思う劇でした。

(無記名 60代 女)



おめでとうございます！

「5月35日」サイン色紙当選者

- 1232 富士桜 朝日 崇さん
- 1304 ムーミン 松尾弘道さん
- 1742 イヴ 伊丹 灌さん

※当選した方は申し出てください。



アンケート枚数 46枚	(回収率3.2%)
当日会員数 1,764名	
例会参加者 1,449名	(参加率82.1%)